真岡市	行	汝評	価シ	ステ	L

作成日	平成28 年	05 月	12	E

評価	評価対象年度 平成27 年度 事務事業マネーシメントシート 作成日 平成28 年 05 月 12 日														
事務	§事業名	中学	·····································					担当 教育委員会 学校教育課 施設係							
政	策名	В	B 学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり				電話	番号	0285-83-8182						
施	策名	2	小・中学校の教育の充実				□ 実施	計画上の	上の主要事業						
	事業名								□ 単年度のみ						
法	令根拠	学校教育	育法第5条真岡市立学	や校の設置及び管理に関す	る条例第3条水質汚濁防止	法他		事業	期間	I =			年度~)		
予!	算科目	1	一般会計	10.教育費	3中学校	費	1 学校管理費	/		□ 期間限定複数年度(年度~			年度)		
		浄化.樺	は真岡東中. 7				交の6校に設置されてい	る。真岡町	東中、大内						
	NIV ION	排水に	ついては、浄化				非出水の検査項目は、								
事	業概要														
1 -	B4774m1ca ~		\ 												
	見状把握の)事務事業の	目的と指標	ı	@ 工 科#	751VIE (************************************								
① 手制 27年月	设(主な活動 度実績	!)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の名称 名称			明宗)の推	₽位 単位	24 年度(実績)	25 年度(実績)	26 年度(実績)	27年度(実績)	28 年度(見込)
した	尿浄化槽から	の排水の	守点検、清掃を の水質検査	委託		ア・浄化槽を使用している学校数			校	6	6	6	6	6	
・土地改良区への負担金															
						イ 保守点検回数 ウ 水質検査回数				<u> </u>	36	36	36	36	36
									回	12	12	12	12	12	
						I									
28年度計画 前年度と同じ					-										
						オ									
			しているのか)	*人や自然資源等		⑥対象指	指標 (対象の大きさを	表す指標)の							
・放流・学権	充先の用排水 交浄化槽	、路			}	アー用担	<u>名称</u> #水路			単位	24 年度(実績)	25 年度(実績)	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(見込)
						イ 浄化	L槽数			. 基		13	13	13	13
						ウエ									
③ 意図	図(この事業	によって	て、対象をどう	変えるのか)		プ プ成果指	指標(対象における意	図された対	象の程度	E) の推	移				
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・排水設備の適正な管理、用排水路の水質保全							名称 (5) 名称			単位項目	24 年度(実績)				28年度(見込)
						1	ミノ川川川上/五寸による尻圧1	ピアコック県日数			26	26	26	26	26
						ウエ									
@ #±-	B / 1771 + 14	-m / ! !!	-+	NH 7 O !!\		オ	4円化無 /4+ワー**	曲をませい	S+m\ C +"						
④ 結果 (どんな結果 (上位施策) に結びつけるのか) ・流入する河川等の水質保全						成果指標 (結果の達成 名称	浸を表す指		単位	24 年度(実績)	25 年度(実績)	26 年度(実績)	27 年度(実績)	28 年度(見込)	
				アー排出	出水の基準値内水質の割合			%	100	100	100	100	100		
				ウエ											
						オ						<u> </u>			
(2) 総	総事業費の			単位	24 年度(実績				26年	6年度(実績)		27年度(実績)		28 年度(見込)	
		国庫支出金 県支出金 地方債		千円 千円		0		0			0		0		<u>0</u>
_{‡0}	事業費 ::			千円				0			0		0	0 0 0 2,322	
投入量	~ 訳		その他 一般財源	千円 千円		1,876				0 1,324		0 1,901			
			計 (A)	千円		1,876		1,734			1,324	1,901		2,32	
	人		職員従事人数 ベ業務時間	人 時間		4		4			4 28		36		4 36
		人件	費計(B)	千円	151		151 146			118		151		151	
(3) 重			スト(A)+(B) 化・市民意見	千円 等		2,027	1	1,880			1,442		2,052		2,473
	の事務事業を				設置や施設の増設等	で学校か	らの排水を用排水路に	接続するた	こめ。						
したき	きっかけは何	か?													
いつごろどんな経緯で 開始されたのか。															
②事務事業を取り巻く 状況(対象者や根拠法					改善のほか治水対策	策や水辺環境の保全・再生が重要課題となってきている。									
令等)	はどう変化	として													
いるか、開始時期ある いは 5 年前と比べてど															
う変わったのか?															
③この事務事業に対し 公共下水道及び農村集落排水事業の推進によって、				処理区域	内に含まれた学校につ	いては、す	すみやかに	こ下水i	道に接続替える	きおこなってい	1る。環境保全	の関心が高ま	って		
て関係者(住民、議会、 事業対象者、利害関係 者等)からどんな意見 や要望が寄せられてい															
るか?															

1 次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価 ①政策体系との整合性 □ 結びついている □ 見直し余地がある ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? 良好な生活環境保全対策として結びつく。 ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか? 目的妥当性評価 ②公共関与の妥当性 ■ 妥当である ■ 見直し余地がある ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? 良好な生活環境の保持は、市の責務である。 ・税金を投入して達成する目的か? ③対象と意図の妥当性 □ 適切である ■ 対象を見直す必要がある ■ 意図を見直す必要がある 対象を限定・追加すべきか? ── 用排水路、浄化槽が対象であり、適切である。 ・意図を限定・拡充すべきか? □ 向上余地はない □ 向上余地がある 基準値以下の良好な水質が維持されている。 ④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか? ⑤廃止・休止の成果への影響 ■ 影響がない 影響がある ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 排出水悪化による環境汚染のおそれがある。 有効性評 ⑥類似事業との統合や連携の可能性 ■ 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) ■ 類似事業はない ・他に、類似の形態の事務事業はないか? ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図る □ 他の事業と統合・連携ができる □ 他の事業と統合・連携できない ことができるか? ⑦事業費の削減余地 ■ 削減余地がない □ 削減余地がある ・成果を下げずに事業費を削減できないか? し尿浄化槽からの排出水の良好な水質を確保するための、必要最小限の経費である。 (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 効率性評価 ⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 □ 削減余地がない □ 削減余地がある ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 業務委託費等の支払い事務のみであり、これ以上の削減は出来ない。 ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど) 9 受益機会・費用負担の適正化余地 □ 公正・公平である □ 見直し余地がある 公平性評価 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ____ 学校教育法第5条の規定により、受益者が負担するものではない。 ・受益者負担が公正・公平になっているか? 3. 改革・改善方向の部 (1) 改革の方向性(改革案・実行計画) (3) 改革・改善による期待成果 □ 廃止 □ 見直し(□:目的妥当性 □:有効性 □:効率性 □:公平性) □ 統合 □ 継続 維持 増加 削減 向上 成果 維持 (2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か?それをどう克服していくか? 低下 4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性) □ 記述説明不足(説明責任不充分) □ 評価内容が客観性を欠く □ 評価内容は客観的と言える (1) 1次評価結果の客観性と出来具合 (2) 2 次評価者としての評価結果 (5) 改革・改善による期待成果 ①目的妥当性 🗌 適切 🔲 見直し余地あり ②有効性 🔲 適切 🔲 見直し余地あり □ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 □ 適切 □ 見直し余地あり コスト 維持 増加 削減 (3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 (4) その他 2 次評価会議で指摘された事項 向上 □ 廃止 □ 休止 □ 目的絞込み □ 目的拡充 成果 維持 □ 事業統廃合 □ 事業のやり方改善 低下 □ 予算削減 □ 予算増大 □ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)